

L'ORÉAL

2013年 4月22日

特定非営利活動法人
動物実験の廃止を求める会 (JAVA)
理事長 長谷川 裕一 様

お世話様になっております。

3月29日付で、貴法人より、弊社代表取締役あての動物実験に関する公開質問状を受領いたしました。

弊社内で、質問状の内容を拝見させていただきましたが、誤解を生むことを避けるため、個々の設問へのお答えは控えさせていただき、弊社見解書をお送りさせていただくことにいたしました。当見解書は、現在、弊社のコーポレートサイトにおいて掲示させていただいております。

4月10日が期限ということで頂いておりましたが、お戻しするのが大変遅くなり、申し訳ありませんでした。

宜しく御査収のほど、お願い申し上げます。

日本ロレアル株式会社
代表取締役社長 クラウス・ファスベンダー

日本ロレアル株式会社
東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー 〒163-1071 Tel.(03)6911-8100

NIHON L'ORÉAL K.K.
Shinjuku Park Tower, 3-7-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 163-1071 Tel.(03)6911-8100
URL:<http://www.nihon-loreal.co.jp>

ロレアルグループでは、「動物実験を伴わない美の創造」(animal-free beauty)を信条としているため、1989年以降、製品に関する動物実験を全面的に廃止しております¹。また、欧州において制定された、動物実験した製品や原料の販売を、2013年3月11日以降禁止とするEU化粧品指令も順守しております。

ロレアルグループの研究所では過去30年にわたり、動物実験代替法の開発を推進し、業界において主導的な役割を果たしてまいりました。その開発の過程で「再構成皮膚モデル」(ヒトの皮膚からとり出した細胞を使い、再構成された人工表皮)の実用化に成功するなど、動物実験に頼らずに製品と原料の安全性に関わるテストを行うことができるようになりました。また、各国の行政機関との連携のもと設立された研究機関において、再構成皮膚を含めた代替法の開発を進めてきています。

私どもロレアルグループは、今後も引き続き全世界の研究機関と連携しつつ、代替法の実用化研究に積極的に取り組み、代替法のみで製品安全性が担保できるよう、グループ全体で努めて参ります。

¹ただし、一部の国において、化粧品の安全性保証に動物実験が法規上義務付けられている場合、また製品の成分に関して、改めてその安全性を証明する必要性が生じ、必要な実験が義務付けられた場合など、代替法が存在しない場合を除きます。